

プログラミングを用いた地域PR

(平成28年度:「若年層に対するプログラミング教育の普及支援事業」実証事業)

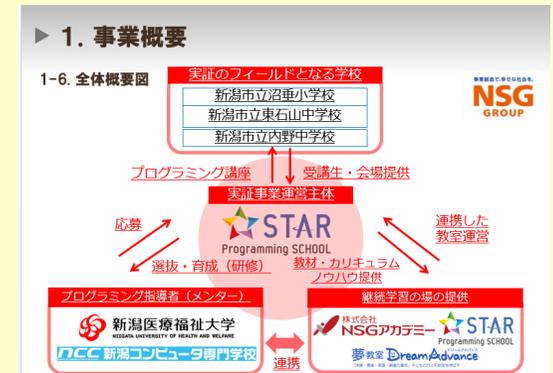
- 新潟市内の公立小学校1校・公立中学校2校での、専門学校生・大学生をメンターとしたプログラミング講座とプログラミングを手段とした地域PR・地域活性化の取組。
- 総務省の平成28年度「若年層に対するプログラミング教育の普及支援事業」で実証(実証者 (株)チアリー)。

事業内容

- ✓ 学校にて接続可能なインターネット環境を使用し、ブラウザはGoogleChromeを使用し、OnlineでScratchにアクセスして講座を実施。
- ✓ 対象はいずれも教育課程外の放課後の時間にて実施。
- ✓ 実証内容は以下のとおり。
 - ・初めてプログラミングの学習をサポートするメンターの育成に関する、最適なステップとその方法
 - ・クラウド及び動画教材を用いたメンター育成の妥当性
 - ・初めてプログラミングを学習する子ども達の学習効果を最大化する、最適なステップとその方法
 - ・メンターの年齢や対応方法による教育的効果について
 - ・小学生のプログラミング初学者に対する基礎的な教材・カリキュラムの妥当性
 - ・中学生のプログラミング初学者に対する基礎的な教材・カリキュラム及びグループワークの内容の妥当性
 - ・プログラミング学習に対する小学生・中学生の興味関心度の変化及び教育的な効果
 - ・プログラミング学習のメンターの能力的な伸びとプログラミング学習に関する興味関心の変化 など

成果・効果

- ✓ プログラミングは初めて経験する子供たちだったが、**プログラミングを手段として新潟市をPRできた。**
- ✓ 子供にとってハードな取り組みであったが、「**難しかったが楽しかった**」というコメントを聞くことができた。
- ✓ メンターも、ITスキルが高い専門学校の学生と、ホスピタリティの高い大学生とがコラボしてよい空気感をだすことができた。
- ✓ 学校からも**継続したい**とのコメントをもらえた。



▶ 実証実施環境

すべて小学校及び中学校に設置されているパソコン及びネットワーク環境を使用して実証を実施します。

基本的な使用機器及び環境

- ・WindowsのPCが各学校のパソコンルームに約40台設置されている
- ・学校にて接続可能なインターネット環境を使用し、ブラウザはGoogleChromeを使用し、OnlineでScratchにアクセスして講座を実施する。
- ・対象はいずれも教育課程外の放課後の時間にて実施する。



WindowsのPCが各学校のパソコンルームに約40台設置されている。



学校にて接続可能なインターネット環境を使用し、ブラウザはGoogleChrome



OnlineでScratchにアクセスして講座を実施する。